

第 2 回 横浜市麦田清風荘指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和 8 年 7 月 28 日(火)午後 1 時 15 分～午後 3 時 10 分
開催場所	中区役所本館 6 階 602 会議室
出席者	織茂委員、近藤委員、佐藤委員、杉山委員、山本委員(計 5 人)
欠席者	なし
開催形態	公開。ただし、一部は委員会の決定により非公開(傍聴者 0 人)
議題	1 会議の公開・非公開について 2 指定候補者の選定について
決定事項	1 会議の公開・非公開について 応募団体の面接審査は公開、審議は非公開とすることを決定 2 指定候補者の選定について 老人福祉センター横浜市麦田清風荘の指定候補者を一般社団法人 中区民活動支援協会とすること、次点候補者をエフィラググループ 株式会社とすることを決定。
議 事	1 面接審査(団体名を伏せた状態で実施) 【応募団体】 一般社団法人 中区民活動支援協会(現指定管理者) ア プレゼンテーション(10 分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(25 分) (委員) 提案書に記載の「ふれあい作品展」とはどのようなものか。 (団体) 毎年 2 月に中区の老人クラブ連合会主催で実施しており、会員が作成した手芸、絵画、書道等たくさんの作品を展示している。麦田清風荘の 2 階を使用して実施しており、大勢の方が来場している。 (委員) 事業計画書に自主事業の記載がないが理由は何か。 (団体) 自主事業に関する取扱いが横浜市から最近提示されたこともあり、現在、どのような事業を実施していくか検討中。麦田清風荘は無料の施設かつ利用者が多いこともあり、自主事業をどれくらいできるかよく検討する必要がある。 当面は指定管理事業を充実させて魅力向上や利用促進を図る。 (委員) 現在、屋上は利用されているのか。 (団体) 定期的には、グラウンドゴルフの団体の利用がある。また、モルック等の団体の利用申込もある。 (委員) 防犯カメラの取扱いはどうなっているのか。 (団体) 24 時間防犯目的で設置しており、設置趣旨を利用者にも掲示で周知し、データは規定に基づき、館長が管理者となって適切に管理している。 (委員) 利用者アンケート結果の活用例はあるか。 (団体) 事業の企画に活用しており、スマホ教室のニーズが高く、事業化した例がある。 (委員) 長く中区に根差して管理運営しているが、ここ 20 年での利用者や運営上の変化はあるか。 (団体) 利用者数は昔に比べれば減り、コロナ禍で更に減少したが、近年は少しずつ戻ってきている。また、サークル活動のメンバーが高齢化して解散するということが繰り返り起きている。一方で、新たにサークル活動を始めたいという動きもある。利用者の年齢は 70 歳代からが多い。運動系での利用ニーズが高まっている。 (委員) 調理室の利用状況はどうなっているか。 (団体) 厨房のような作りとなっているので、料理教室には向いていない。また、コロナ禍以降利用が減っている。

	(委員) 修繕費が不足する事態が見込まれ、区と相談しながら修繕する旨の記載があるが、区に相談している間に事故が発生したらどうするのか。区からの指示を待たず、自主的に対応できるのか。 (団体) 事態の悪化がないように対応している。例えば、夏に空調が壊れた場合は施設の利用停止も検討するなど、利用者の安全確保が第一と考えている。ただし、利用停止や休館を単独で決定はできず、区とも協議し了解を得てから対応することになる。 (委員) 10年という長いスパンで考えたときに、どのような施設でありたいか。 (団体) 健康寿命を延ばしていくために、サークル活動の充実など利用促進を図りたい。 (委員) 最後のアピールはあるか。 (団体) これまで培ってきた地域との関係をしっかりと守り、強めながら施設運営を行っていききたい。地域との関係づくりなくして施設の運営は成り立たないと思っている。当団体は地域からの信頼と実績が大きいと考えており、長年培ってきた地域との関係を活かして、長いスパンで地域に貢献していきたい。 【応募団体】 エフィラグループ 株式会社 ア プレゼンテーション(10 分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(25 分) (委員) インクルーシブスポーツを実施する旨の記載があるが、具体的にはどのような競技を想定しているのか。 (団体) ボッチャ、風船バレー、卓球台を活用した卓球バレーなど、誰でも参加できるような企画を予定している。 (委員) 御社の強みは何か。 (団体) 220以上の拠点で29の事業分野があり、いろいろな分野の福祉事業を運営している点が強み。一つの分野を全国展開するケースとは異なり、当社のように神奈川県や横浜市に特化して29の事業をやっているケースは珍しい。他の地域の成功事例など、徹底的に他社を勉強し、素直に取り入れる姿勢で、狭い地域で沢山のことを実施することが可能になっている。それにより一つの地域が抱える課題解決に向けて、様々な角度で対応、バックアップできていると考えている。 (委員) 指定管理業務の実績はあるか。 (団体) 実績はない。横須賀市で放課後児童クラブを受託している。横浜市中で産前産後ヘルパー等の派遣事業や、ひとり親家庭等の支援事業の受託実績はある。 (委員) 今回応募した動機は何か。 (団体) 地域住民の役に立ちたい。地域住民のためにある公共施設の運営は、当社の理念を実現するのに適していると考えた。29の事業実績を積んできた今だからこそ、十分力を発揮できると考えた。 (委員) 麦田清風荘が現在どのような形で運営されているか把握しているか。 (団体) 数回訪問し、施設のホームページを確認した。 町内会や社会福祉協議会とも連携し、地域に根差した運営をしている印象がある。 (委員) 麦田清風荘の課題を何か感じたか。 (団体) 若い年代の高齢者の利用が少なく、利用者が固定化している点は課題だと考える。まずは施設を地域住民に認知いただき、家族から年配者に施設を紹介してもらえるような地域イベントや教室などを、今までよりも増やしていきたいと考える。 (委員) 若い年代の高齢者の利用は必要なのか。また、なぜ利用が少ないと考えるか。 (団体) こういう施設があることを知っていることが大事。仲間づくりがしたい時など選択肢の
--	--

	一つとして、麦田清風荘がどんな施設か、一回でも足を運んで知っていることが大切だと考えている。利用が少ない理由は、60 歳以上でも現役で働く人も多い中で老人福祉センターに行こうという思考にならないことだと考える。元気なうちから興味を持っていただけるようなイベント、夜間の講座など、内容や時間を工夫したい。 (委員) 長期的な視点で、麦田清風荘はどのような施設でありたいと考えるか。 (団体) 老人福祉センターが公共施設として存在する意義としては、費用負担が少なく利用のハードルが低い点だと考える。講座を受けるだけでなく、市民が主体的に活動するきっかけになると良い。また、身近な相談窓口でありたい。麦田清風荘に通っている中で、身近に相談できる存在でありたいと考える。 (委員) 御社の運営ノウハウを教えてほしい。 (団体) 守破離の考え方で、他社からも教えを乞うていきたい。色々な他区での成功、失敗事例を学んでいきたい。また、地域の協力なくして施設の運営はできないと考えており、地域の方々の声も運営に活かしていきたい。 (委員) 夜間の講座は何時頃までを想定しているのか。バスの本数が減ることや、お年寄りには却って危ないこともあるので、考えて実施してほしい。 (団体) 19～20 時の講座をイメージしていたが、利用状況に応じて柔軟に対応したい。 2 応募団体の欠格事項の該当有無及び財務状況について報告 事務局から各応募団体について、関係機関への照会を行い「市税等を滞納していないこと」や「暴力団又は暴力団経営支配法人等ではないこと」の確認や、そのほかの欠格事由にも該当しないことの確認を行っている旨を報告。また、税理士の委員から各応募団体の財務状況について、今後5年間の指定管理期間における施設の管理運営に支障はないことが報告された。 3 指定候補者の選定 各委員による評点を集計した結果、いずれの応募団体も最低基準点(加減点項目を除く評価基準項目の合計満点の6割以上)を満たしており、老人福祉センターの指定候補者及び次点候補者が次のとおり決定された。 指定候補者:一般社団法人 中区民活動支援協会 (得点:364 点/満点:500 点) 次点候補者:エフィラグループ 株式会社 (得点:308 点/満点 500 点) 4 その他 (委員長) 議事録及び区長へ提出する報告書の作成は事務局で行い、委員長に確認した上で確定ということよろしいか。 (委員) 異議なし
資 料 ・ 特記事項	1 資料 なし 2 特記事項 なし